

# Julabo Case Study

## JULABO PRESTO A80t

20L反応容器を  
0℃から+20℃に加熱。



### 目的：

このケーススタディでは20リットルのガラスリアクターでJULABO PRESTO A80tの加熱能力テストを実施。  
A80tは、片道1mのメタルチューブでリアクターに接続されています。  
0℃から+20℃にヒートアップするようにプログラムされています。

### 環境：

室温 20℃  
湿度 45%  
電源 208 V / 60 Hz

### 試験条件：

使用機種	ユラボ社製 PRESTO A80t
冷却能力	+20℃ 1.2 kW 0℃ 1.2 kW -20℃ 1.1 kW
加熱容量	3.4 kW
バンドリミット	with
ポンプ圧	0.5 bar
循環液	ユラボ社製 サーマルHL80
反応容器	20Lガラス反応容器(Chemglass) 容器内にはエタノールを19L充填
ジャケット充填	8L
温度制御	外部制御 (ICC)



### 試験結果：

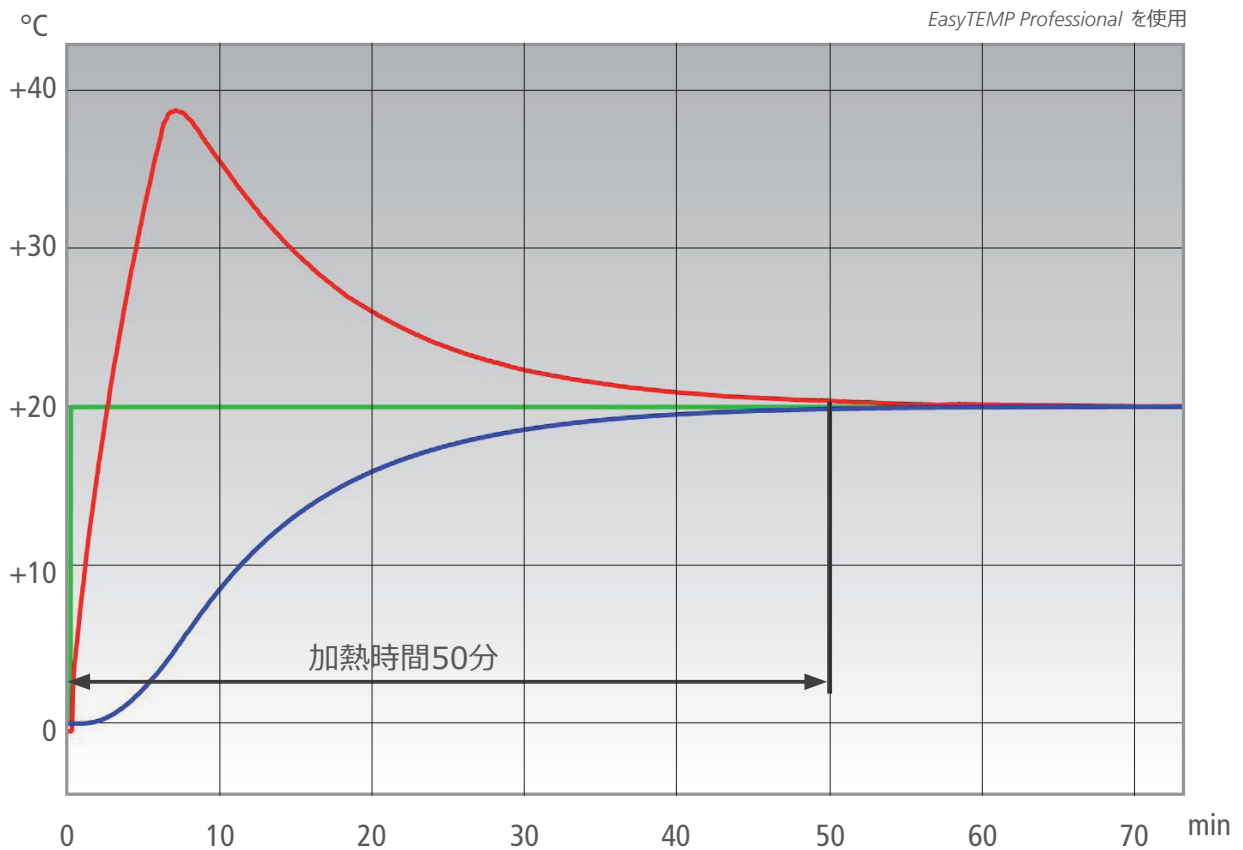
次ページのグラフを参照ください。：A80t加熱プログラムでは、0℃から+20℃へ50分オーバーシュート無しで実施。

### その他機能

弊社循環ホース  
とアダプターの使用  
により、捻じれる事  
無く接続出来ます。



JULABO GmbH  
Eisenbahnstraße 45  
77960 Seelbach / Germany  
Tel. +49 (0) 7823 51-0



- 設定温度
- ガラス反応容器内温度
- ガラス反応容器ジャケット温度

**その他機能**  
 ポンプ吐出圧調整  
 機能を搭載  
 PRESTO® には  
 希望のポンプ吐出  
 圧数値を設定する  
 事が可能です。

**その他機能**  
 バンドリミッドにより  
 容器内部温度とジャ  
 ケット温度の最大温  
 度差の設定が可能。  
 これにより、反応容器  
 の破損防止をします。

反応容器の構造

JULABO GmbH  
 Eisenbahnstraße 45  
 77960 Seelbach / Germany  
 Tel. +49 (0) 7823 51-0